

一歩前進

～落ち着いた雰囲気の中に活気のある学校をめざして～
3つの『あ』…「あいさつ・あきらめない・ありがとう」…をベースに

再度のお願いです…雨の日こそ歩く!!

梅雨に入り、ぐずついた天気の日が続いています。この時期は、何度となく天気予報を見てしまい、『雨(傘)マーク』がついていると、「また雨かあ…」と、少し憂鬱(ゆううつ)な気分になります。ただ、そんな雨も、私達の生活になくてはならない大切なものであることには間違いありませんので、「雨を楽しむ」とはいかないまでも「雨と上手に付き合う」生活をしていきたいものです。



ですから、登下校時も、雨と上手に付き合ってもらえればと思います。雨が降ると歩きにくいですし、少々危険も伴います。また、濡れて不快な気持ちもするなど、とにかく歩きたくないですね。しかし、将来にわたって生きていく中で、子ども達には、そういう「多少いやな」経験こそさせておかなければならない大事なものと捉えています。おかげさかもかもしれませんが、小学生時代に雨の中を歩いて学校に通うという体験を積み重ねたことが、将来、いろんな困難にぶつかった時に、それ乗り越える何らかの力になり得ると考えます。子ども達自身が乗り越えられそうな多少の困難は、敢えて、少しずつ与え続けていく必要があります。子ども達が困らないようにと大人が先回りをして、困難を取り除いてしまうのはよくありません。子ども達には、今の時期から、将来自立して生きていける力を少しずつ蓄えさせていきましょう。だからこそ、雨の日でも(雨の日こそ)子ども達を歩かせてもらいたいと思っています。

『より強く、よりたくましく!!』雨の日でも歩いて登校してくるのが、子ども達の「当たり前」になってくれると嬉しいです。

一歩一歩の積み重ねが、体と心を強くしていきます



3つの「あ」の3つ目の『あ』は・・・ 【ありがとう】

「ありがとう」という素直な気持ちは、人を成長させる一番の近道だと思っています。いつもお世話をしてくださっているお家の方や先生方に「ありがとう」、一緒に遊んでくれる周りの友達に「ありがとう」、ボランティア等で見守ってくださっている地域の方に「ありがとう」、ランドセルやくつ、鉛筆・消しゴムといった道具等にも「ありがとう」、いろいろな経験をさせてくれる玉名町小学校にも「ありがとう」。そんな感謝の気持ちで生活できたら、きっとグングン伸びていくはずです。そして、お互いに「ありがとう」の気持ちをもって、毎日温かい気持ちで過ごせるといいなと思っています。

学校の中には「ありがとう」がいっぱいです



チャレンジタイムでは、たくさんの「丸付けボランティア」の方にお世話になっています。



校長室から

学校通信第2号で書かせていただいた、朝ドラ「あんぱん」の話の続きです。

特に、私がいいなあと思っているのは、「嵩」(=やなせたかし)のおじの「寛」(竹野内豊が演じています)です。嵩の父親が早くに亡くなったため、子どもがいない寛夫婦が嵩兄弟を引き取り、父親代わりとして、嵩兄弟を我が子同然に育てていくのですが、父親としての懐の広さとにじみ出る愛情がとてつもなくいいです。加えて、嵩兄弟の一番の良き理解者であるところがすばらしいです。そもそも竹野内豊自体がかっこいいんですけど、ドラマの中での寛さん、理想の父親像だなあと思います。

残念ながら、ドラマの中では病死されましたが、ドラマ「あんぱん」は、なかなか奥が深そうで、これからも目が離せません(と言いつつ、2週間分ぐらいビデオにたまっていますけど…)。